

平成26年度

坂井市立三国病院改革プラン評価書

平成28年1月

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会

◆ はじめに

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会は、坂井市立三国病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の点検・評価を実施した。  
評価にあたっては、改革プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の4段階評価基準による評価を行った。

<評価説明>

評価	評価の基準
評価 A	計画、目標数値を大きく上回った (+10%超)
評価 B	計画、目標数値をほぼ達成した (+10%まで)
評価 C	計画、目標数値をやや下回った (-10%まで)
評価 D	計画、目標数値を大きく下回った (-10%超)

1. 全体評価

坂井市立三国病院は平成21年3月に改革プランを策定し、その達成を進めるためとして経営効率化の数値目標を定めて具体的な取組みを進めてきた。

平成26年度は、入院基本料の区分(10対1)を維持したことにより、入院収益が増額となり、その結果、【表1】のとおり改革プラン目標値に対して14項目中6項目が上回り、前年度より上回った項目が多くなった。しかし、半数以上は目標数値を下回っており、今後更なる努力を求めるものである。

2. 個別評価

財務数値の達成状況については、6項目中2項目を評価B、2項目を評価C、2項目を評価Dとした。収入の確保については、5項目中2項目を評価B、1項目を評価C、2項目を評価Dとした。支出の削減・抑制については、3項目中2項目を評価B、1項目を評価Cとした。

【表1】  
市立三国病院改革プラン評価表(経営効率化指標総括表)

1. 財務数値の達成状況

(1) 減価償却費・繰延勘定償却を含む場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成26年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	91.3	99.2以上	95.3	C	C
医業収支比率(90.6以上) (%)	77.8	95.7以上	85.7	D	D
職員給与費比率(59.1以下) (%)	64.3	53.3以下	57.2	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	20.0	17.9以下	17.8	B	B
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	10.2	9.0以下	8.5	B	B
病床利用率(74.8以上) (%)	61.5	79.8以上	61.2	D	D

(2) 減価償却費・繰延勘定償却を除く場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成26年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	102.5	106.6以上	102.2	C	C
医業収支比率(90.6以上) (%)	87.6	103.1以上	95.4	C	C
職員給与費比率(59.1以下) (%)	64.3	53.3以下	57.2	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	20.0	17.9以下	17.8	B	B
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	10.2	9.0以下	8.5	B	B
病床利用率(74.8以上) (%)	61.5	79.8以上	61.2	D	D

## 2. 収入の確保

財務数値目標項目	前年度 実績	平成26年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
1日当たり入院患者数 (※1) (人)	64.6	80.0	64.3	D	D
1人1日当たり入院診療単価 (※2) (円)	27,540	32,000	32,721	B	B
病床利用率(対105床) (※3) (%)	61.5	79.8	61.2	D	D
1日当たり外来患者数 (人)	276.0	300.0	271.9	C	C
1人当たり外来診療単価 (円)	7,921	7,700	7,935	B	B

(※1) 1日当たり入院患者数＝(在院年延患者数＋退院年延患者数)÷年間日数

(※2) 1人1日当たり入院診療単価＝入院収益÷(在院年延患者数＋退院年延患者数)

(※3) 病床利用率＝(在院年延患者数＋退院年延患者数)÷(105床×年間日数)

## 3. 支出の削減・抑制

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成26年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
職員給与費比率(59.1以下) (%)	64.3	53.3以下	57.2	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	20.0	17.9以下	17.8	B	B
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	10.2	9.0以下	8.5	B	B

## 【表2】

## 市立三国病院改革プランの具体的取組状況

## 1. 民間的経営手法の導入

項 目	取組実績・成果等	課題・改善案等
調理部門の委託	平成22年4月から献立・食材料発注を除く調理部門の委託を実施した。(災害時において病院給食の優先提供とする内容の契約) 平成26年度は契約更改の年ではなかったため、削減効果は出なかった。	献立、食材料を除く調理部門委託の継続的实施を推進する。

## 2. 事業規模・形態の見直し

項 目	取組実績・成果等	課題・改善案等
現診療体制の維持 (地方公営企業の一部適用維持)	非常勤診療科の常勤医師確保を目指し、福井大学医局や県へ医師派遣を要請した。併せて、ホームページにて医師募集を行っている。 平成25年4月より、県から産婦人科医師1名が常勤医師として派遣されたが、1年限りで引き上げになった。	当院に限らず、地域医療機関の医師不足は全国的に大きな問題となっているが、引き続き各大学医局、県に対して継続的な派遣を求めていく。

## 3. 経費削減・抑制対策

項 目	取組実績・成果等	課題・改善案等
委託業務契約の見直し	長期継続委託業務契約の契約更改時に点検・見直しを行い、5業務において7,447千円の削減を図った。	今後予定されている医療機器等の更新に際し、その保守料の削減を図る。
薬品価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託して、平成21年度で5%削減し、22年度で12%の削減を図った。23年度以降も前年度同様に12%の継続的削減を図った。	全国自治体病院協議会による医薬品や医療材料の共同購入事業を引き続き要請する。
医療材料価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託した結果、高額な材料が少なく、また適正価格の品数が全体の90%程度であり適正であるとの評価を得て、この水準の維持に努めた。	
医療機器購入検討委員会の設置	医療機器購入検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図った。	継続して検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図る。
事務局職員の会計間人事交流による人件費抑制	平成26年度は事務局職員1名減員となったため、9,000千円の削減となった。	職員数を維持したうえで人件費が低くなるように、人事担当課に協力要請を図る。

#### 4. 収入増加・確保対策

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
看護配置体制10対1の維持	平成25年1月から平成25年10月まで特別入院基本料となったが、平成25年11月から10対1に復帰し、平成26年度は10対1を維持するできた。	10対1は維持したものの、依然として人員が不足しており、職員に過度の負担をかけている状況である。 安定した看護配置体制10対1を維持するため、看護職員を随時募集するなど、看護師の安定的確保を図る。
人間ドック・健診等の拡充	更なるがん検診受診率向上のため、血液中のアミノ酸のバランスの変化により、がんの可能性を調べる血液中アミノ酸濃度測定検査の取り組みを検討	人間ドック・検診(健診)事業の継続的实施を図る。
ベッドコントロールによる病床利用率の向上	医療ソーシャルワーカーによる退院調整が順調に行われたため、平均在院日数が短縮し16～17日で推移している。一方で、在院患者数の減少により、病床利用率は低下した。	引き続き、適正な退院調整等を行い、平均在院日数の短縮を図るとともに、常勤医師を増員し、入院診療可能な診療科を増設することで、入院患者数の増加を図る。
診療報酬等研修会	平成26年4月の診療報酬改定に伴い、全職員を対象に、研修会を開催した。 また、県看護協会で開催された看護部門の研修会に参加した。	今後も診療報酬が改定される際は、研修会を開催し、情報の共有化を図る。

#### 5. その他

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
CS(ケア・サポート)セット利用の導入	快適な入生活を送るため、また家族の負担を軽減することを目的に、これまでご入院時に準備して頂いていた衣類やタオル類、日用消耗品類、紙オムツを外部専門業者からレンタルするシステムを導入した。	概ね満足頂ける結果であるので、引き続き患者サービスの向上に努める。
クレジットカード・デビットカードによる支払導入	クレジットカード・デビットカードによる診療費支払を開始した。5月から実施(毎日8:30～17:15使用可能)	医事担当職員が勤務している時のみ使用可能で、夜間に使用できないことが課題
外来ホールでの写真展示	外来待ち時間の「癒し」のため、坂井市文協写真部門の協力を得て外来ホールに写真を常設展示し、年4回入れ替えを行う。	概ね満足頂ける結果であるので、引き続き患者サービスの向上に努める。
医師及び看護師の負担軽減	医師不足の中で勤務条件改善のため、土曜日の当直業務を大学に依頼した。6月から実施	大学医局の事情により長期間の継続が課題となる。
患者満足度調査の実施	昨年度に引き続き外来患者300人を対象に患者満足度調査を行った。	概ね満足頂ける結果であったので、引き続き患者サービスの向上に努める。
看護師の確保	新卒看護師の採用試験を年1回から年4回に改め、受験の機会を増やした。	引き続き実施し、看護学校等に周知を行い、受験者を増やす。

### 3. 評価委員の主な意見

- 患者満足度の向上に努め、患者数の増加を図ること。
- 平成28年度に策定予定の新改革プランでは、地域医療構想を踏まえて策定すること。
- 新改革プラン策定では経営形態についても柔軟に検討すること。
- 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の医療機関との連携強化を図ること。

【決算資料】

坂井市立三国病院経営データ

1. 職員の状況

【単位：人】

職種	平成23年度末現在		平成24年度末現在		平成25年度末現在		平成26年度末現在	
	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員
医師	11	21	12	17	12	18	11	20
薬剤師	4	1	4		4		4	
放射線技師	3		3		4		4	
臨床検査技師	6		4	1	5		5	
管理栄養士	1		1		1		1	
栄養士		1		1		1		1
理学療法士	1		2		2		2	
作業療法士	1		1		1		1	
言語聴覚士	1		1		1		1	
臨床工学技士					1		1	
視能訓練士	1		1		1		1	
看護師・助産師	55	9	54	9	53	12	50	14
准看護師	9	2	7	4	7	2	5	2
事務職員	6	9	7	9	8	8	7	9
オペレーター		1						
医療ソーシャルワーカー	2		2		2		2	
看護助手	3	13	3	14	3	13	2	14
調理師								
調理師助手								
用務員	1		1					
雑仕婦		2		3		2		2
合計	105	59	103	58	105	56	97	62



## 2. 医師の状況

【単位：人】

職種	平成23年度末現在		平成24年度末現在		平成25年度末現在		平成26年度末現在	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	3		4		3		3	
(循環器科)		3		2		3		3
(腎臓内科)		1		1		1		1
(呼吸器科)		1		1		1		1
(内分泌代謝科)		1						
(神経内科)								1
小児科	1	1	1	1	1	1	1	1
外科	3		3		3		3	
整形外科	2		2		2		2	
脳神経外科		2		2		2		2
皮膚科		2		2		1		2
泌尿器科		3		2		2		2
産婦人科	1		1		2		1	
眼科	1		1		1		1	
耳鼻咽喉科		4		3		4		3
放射線科		3		3		3		4
合計	11	21	12	17	12	18	11	20

3. 診療科別収益状況(入院) <消費税込>

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成25年度決算(A)		平成26年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益
内 科		11,277	273,383	10,926	323,139	△ 351	49,756
外 科		2,772	99,859	2,998	121,489	226	21,630
小 児 科		645	15,348	603	19,921	△ 42	4,573
産 婦 人 科		1,551	83,722	1,479	79,153	△ 72	△ 4,569
整 形 外 科		5,590	152,327	5,673	192,920	83	40,593
脳 神 経 外 科		0	0	0	0	0	0
眼 科		370	28,108	367	34,060	△ 3	5,952
泌 尿 器 科		0	0	0	0	0	0
合 計		22,205	652,747	22,046	770,682	△ 159	117,935

※ 延べ患者数は在院患者数を指す。

## 4. 診療科別収益状況(外来) &lt;消費税込&gt;

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成25年度決算(A)		平成26年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益
内 科		23,975	200,582	24,687	213,071	712	12,489
透 析 内 科		5,173	165,820	5,071	156,695	△ 102	△ 9,125
外 科		4,327	37,808	4,098	30,370	△ 229	△ 7,438
小 児 科		11,872	41,956	11,378	40,479	△ 494	△ 1,477
産 婦 人 科		6,836	35,460	6,742	36,767	△ 94	1,307
整 形 外 科		11,362	74,820	10,928	73,400	△ 434	△ 1,420
脳 神 経 外 科		1,681	10,613	1,632	10,693	△ 49	80
眼 科		6,667	32,989	6,016	28,802	△ 651	△ 4,187
耳 鼻 咽 喉 科		4,574	18,229	4,613	18,815	39	586
皮 膚 科		2,125	5,384	2,012	5,627	△ 113	243
泌 尿 器 科		1,988	15,362	1,932	14,280	△ 56	△ 1,082
合 計		80,580	639,023	79,109	628,999	△ 1,471	△ 10,024

5-1. 平成23～26年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を含む場合) <消費税抜>

(単位:千円)

項目	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績) (A)	平成26年度 (計画) (B)	比較 (A)-(B)
医業収益	1,686,333	1,574,207	1,440,428	1,547,793	1,747,110	△ 199,317
入院収益	871,679	764,683	649,421	767,529	934,400	△ 166,871
外来収益	653,627	648,962	638,258	627,751	674,520	△ 46,769
その他医業収益	161,027	160,562	152,749	152,513	138,190	14,323
(うち一般会計負担金)	76,415	80,831	80,602	77,376	75,939	1,437
医業外収益	228,479	208,497	334,974	214,566	151,446	63,120
(うち一般会計負担金)	138,133	198,833	326,758	203,402	140,106	63,296
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,914,812	1,782,704	1,775,402	1,762,359	1,898,556	△ 136,197
医業費用	1,894,714	1,868,730	1,851,948	1,807,109	1,826,251	△ 19,142
給与費	917,041	919,120	926,720	884,648	930,342	△ 45,694
材料費	313,758	292,922	287,464	275,702	313,134	△ 37,432
(うち薬品費)	151,939	147,255	139,773	131,777	156,454	△ 24,677
経費	492,875	468,931	426,301	456,774	445,954	10,820
減価償却費	167,394	183,943	207,556	183,990	131,904	52,086
その他医業費用	3,646	3,814	3,907	5,995	4,917	1,078
医業外費用	99,866	93,006	91,959	102,011	87,678	14,333
支払利息	63,350	61,692	59,999	57,747	56,714	1,033
繰延勘定償却	7,033	2,783	4,473	0	1,165	△ 1,165
その他医業外費用	29,483	28,531	27,487	44,264	29,799	14,465
経常費用(医業費用+医業外費用)	1,994,580	1,961,736	1,943,907	1,909,120	1,913,929	△ 4,809
経常損益	△ 79,768	△ 179,032	△ 168,505	△ 146,761	△ 15,373	△ 131,388
特別利益				10,701		10,701
特別損失	2,748	1,677	83,028	81,418	2,200	79,218
純損益	△ 82,516	△ 180,709	△ 251,533	△ 217,478	△ 17,573	△ 199,905

## 5-2. 平成23～26年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を除いた場合) &lt;消費税抜&gt;

(単位:千円)

項 目	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績) (A)	平成26年度 (実績) (A)	平成26年度 (計画) (B)	比 較 (A)-(B)
医業収益	1,686,333	1,574,207	1,440,428	1,547,793	1,747,110	△ 199,317
入院収益	871,679	764,683	649,421	767,529	934,400	△ 166,871
外来収益	653,627	648,962	638,258	627,751	674,520	△ 46,769
その他医業収益	161,027	160,562	152,749	152,513	138,190	14,323
(うち一般会計負担金)	76,415	80,831	80,602	77,376	75,939	1,437
医業外収益	228,479	208,497	334,974	214,566	151,446	63,120
(うち一般会計負担金)	138,133	198,833	326,758	203,402	140,106	63,296
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,914,812	1,782,704	1,775,402	1,762,359	1,898,556	△ 136,197
医業費用	1,721,335	1,684,788	1,644,392	1,623,119	1,694,347	△ 71,228
給与費	917,041	919,120	926,720	884,648	930,342	△ 45,694
材料費	313,758	292,923	287,464	275,702	313,134	△ 37,432
(うち薬品費)	151,939	147,255	139,773	131,777	156,454	△ 24,677
経費	486,890	468,931	426,301	456,774	445,954	10,820
減価償却費						
その他医業費用	3,646	3,814	3,907	5,995	4,917	1,078
医業外費用	92,833	90,223	87,486	102,011	86,513	15,498
支払利息	63,350	61,692	59,999	57,747	56,714	1,033
繰延勘定償却						
その他医業外費用	29,483	28,531	27,487	44,264	29,799	14,465
経常費用(医業費用+医業外費用)	1,814,168	1,775,011	1,731,878	1,725,130	1,780,860	△ 55,730
経常損益	100,644	7,693	43,524	37,229	117,696	△ 80,467
特別利益				10,701		10,701
特別損失	2,748	1,677	83,028	81,418	2,200	79,218
純損益	97,896	6,016	△ 39,504	△ 33,488	115,496	△ 148,984

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 名 等
委員長	佐 藤 寛 治	坂井市議会 生活福祉常任委員会 委員長
委員	宮 崎 茂 則	坂井地区医師会 三国ブロック代表
〃	五十嵐 愛 子	三国自治区地域協議会代表
〃	廣 瀬 和 郎	坂井市立三国病院長

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 開催経過

開 催 日	議 題
平成27年12月3日(木)	委員長の選出 平成26年度改革プランの点検・評価について